



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

リビア：憲法起草委員会選挙の実施

2月20日、リビアで、憲法起草委員会の委員60人を選出する選挙が実施された。同選挙では、西部トリポリタニア、東部キレナイカ、南部フェッザーンから各20名ずつ選出される。しかし、投票日には、憲法起草委員会選挙に反対する少数民族による投票ボイコットや、投票所への破壊行為、治安上の懸念といった理由によって、一部の投票所が開所しなかった。そのため、現在も13議席が未確定のままである。アマジグ族、トアレグ族などの少数派は、リビア政府が少数民族の権利の保障に消極的であることを批判している。

こうした中、3月2日、未確定の13議席を残したまま、アッバール高等選挙委員会委員長が国民議会に辞表を提出した。当初、憲法起草委員会は3月上旬に成立し、憲法起草作業を開始する予定だった。憲法起草委員会の成立は3月下旬以降にずれ込む見通しである。

以下は、20日の投票日からこれまでの概要である。

1. 2月20日の投票

- ・同日夜、高等選挙委員会（HNEC）のアッバール委員長は、有権者497,633人（有権者登録数、1,101,541人）が投票を行ったと発表した。投票率は45%。
- ・全投票所1,577カ所のうち、実際に開所されたのは1,496カ所だった。投票所が開所されなかったのは、西部34カ所（アマジグ族のボイコットによる）、南部オバリとムルズクの61カ所、南部クフラの3カ所、南部セブハの2カ所、東部アジュダービヤの1カ所、東部デルナの14カ所。
- ・投票所の未開所によって確定していない13議席について、2月26日に再投票を実施することを決定。
- ・アッバール委員長は、選挙をボイコットした少数民族・アマジグ族との交渉が暗礁に乗り上げていることを明らかにした。現在、アマジグ族による投票所閉鎖を解除させるために、数多くの提案が行われた模様。

2. 2月26日の再投票

- ・アッバールHNEC委員長は、治安上の問題、少数民族による妨害により、いくつかの選挙区で再投票が実施できなかったと発表した。投票所が開所されなかったか、閉鎖されたのは、東部デルナの13カ所、東部トクラの3カ所、南部オバリの6カ所、南部クフラの3カ所。
- ・上記発表において、アッバール委員長は、再々投票を実施するか否かについて明言しなかった。

3. 3月2日、HNEC委員長辞任

- ・アッバール HNEC 委員長は、国民議会に辞表を提出した。理由は明らかにされていない。HNEC 情報筋によると、同委員長は、投票実施日の治安維持のために派遣された治安部隊の働きに不満を持っていたという。

4. 現在までの確定議席（全 60 議席中、47 議席が確定）

西部トリポリタニア

- ・シルテ選挙区（3 議席）
- ・ミスラタ選挙区（4 議席）
- ・トリポリ選挙区（6 議席）
- ・ザーウィヤ選挙区（5 議席）

南部フェッザーン

- ・セブハ選挙区（9 議席）
- ・オバリ選挙区（3 議席）
- ・ガダーメス選挙区（2 議席）

東部キレナイカ

- ・ジャバル・アフダル選挙区（5 議席）
- ・ベンガジ選挙区（4 議席）
- ・アジュダービヤ選挙区（3 議席）
- ・ビトナーン選挙区（3 議席）

（金谷研究員）

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799